

# シルバー やまがた

第128号 平成29年10月1日発行

(公社)山形市シルバー人材センター  
正会員数1,030名 賛助会員 43個人・70団体(9月末現在)



秋の山寺 (広報部会 今野久子さん撮影)

## — 内容紹介 —

- |    |                                     |      |                       |
|----|-------------------------------------|------|-----------------------|
| P2 | 10月は事業普及啓発促進月間です                    | P5   | 地域紹介 わが街自慢            |
| P2 | 会員の状況・就業状況について                      | P6～7 | 会員のひろば                |
| P3 | 安全標語入選発表<br>安全講習会の実施                | P8   | 就業会員を訪ねて              |
| P4 | 「やまがた生涯現役促進地域連携事業」について<br>センターの活動状況 | P9   | 人あり・技あり・心あり<br>新入会員紹介 |
|    |                                     | P10  | 事務局だより                |

# 10月は事業普及啓発促進月間です

## — 地域活動の一層の推進を —

政府の「働き方改革実現会 この状況にあたり、十月の事業」によれば高齢者の七割近く 業普及啓発促進月間において全が六十五歳を超えても働きたい 国一斉に事業普及啓発活動が行と願っている。しかし実際に働 われます。

当センターにおいても、次のおり、その受け皿としてシル 事業を実施いたしますので、会バー人材センターの役割が益々 員の皆様のご協力と参加をお願大きくなくなってきております。 いたします。

### 一 事業実施期間

十月一日（日）から十月三十一日（火）

### 二 事業の実施内容

- ① 会員と市民が交流するシルバーフェア等の開催  
会員互助会文化祭における活動風景パネル展示  
十月二十九日（日）～三十一日（火） 山形テルサ大会議室
- ② 役員、会員によるボランティア活動等の社会奉仕活動の実施  
会員による街路清掃活動 十月二十五日（水） 山形駅西地区  
他、地区研修会場等の清掃等社会奉仕活動の実施  
マスメディアに対する報道の働きかけ
- ③ 普及啓発活動内容等の山形市役所市政記者クラブへの情報提供  
ポスター、リーフレット、広報用映像等を活用した役員、  
会員による普及啓発活動、及び加入の働きかけの実施  
役員による街頭啓発活動（イオン山形南店・山形北店）  
十月三十一日（火） 午前十時～
- ⑤ 一…一（イチイチ）運動の推進

## 会員の状況・就業状況について

平成29年4月から平成29年8月末まで（上半期）

### ① 会員の状況

月別	入会者数	退会者数	当月末会員数	備考
29. 3. 31			1,060	
4 月	23(男12、女11)	128(男89、女39)	955	
5 月	21(男17、女4)	5(男3、女2)	971	
6 月	11(男8、女3)		982	
7 月	19(男11、女8)		1,001	
8 月	12(男7、女5)		1,013	
合計				男:771 女:242

### ② 就業状況

区分	職 群	就業延人員	備 考
一般受注	技術群	1	経理事務、パソコン作業 など
	技能群	16,566	襖張り、障子張り、剪定 など
	事務整理群	1,629	賞状筆耕 など
	管理群	21,714	駐車場管理、施設管理 など
	折衝外交群	419	量販店での作業 など
	一般作業群	17,504	除草、草刈り、清掃 など
	サービス群	428	病院での洗濯、らくらく応援隊 など
	計	58,261	

区分	職 群	就業延人員	備 考
独自事業	自転車再生	175	
	刃物研ぎ	4	
	即売会	0	
	計	179	
合計		58,440	
派遣事業		8,356	

# 安全標語入選発表・安全講習会の開催

八月八日、山形テルサにて、第十四回安全就業標語入選発表会が行われ、応募数二〇一編の中から、最優秀作品一編、優秀作品一編、佳作五編が入選発表されました。入選されました皆様、おめでとうございます。

## 安全標語入選作

**最優秀**

安全就業 目指す事故「0」 みんなが主役 (西地区 渡辺美沙子)

**優一秀**

むちゃするな! あわてずあせらず ゆとりもて (第二地区 村田せつ子)

**佳作**

事故防止 ヒヤリハットを 忘れるな (南山形・本沢地区 古内 藤一)

速さより 正確作業で貢献します 鍛えた技術で安全就業 (東沢地区 黒木 和子)

慣れた職場も気を抜かず 基本ルールを 忘れずに (第六地区 茅野 勲)

ひやり体験 伝えて活かす 無事故の誓い (蔵王地区 荒井 重男)

健康第一 今日笑顔で 安全就業 (千歳地区 設楽 みつ)



## 安全講習会

安全就業推進委員会委員長 **樋口 健一**

八月八日、山形テルサにて、第十四回安全就業標語入選発表と表彰式後に、安全講習会が行われ、一三八名の参加がありました。

二十八年度から安全就業推進委員会事業計画で『三年間事故ゼロ』を目指し、全会員・役職員が一丸となり安全意識の啓発に努めておりましたが、残念ですが二十九年度に入り人身事故二件・物損事故一件が発生してしまいました。幸いに重篤事故ではありませんでしたが、事故を防止するためには、自分自身で日々の就業行動に最善の注意が必要と判断します。もう一度初心に帰り安全第一でお願いします。

今年度の安全講習会は事故ゼロを目指すためには会員の健康も第一優先となることから、山形市長寿支援課課長補佐の佐藤美由紀様に「高齢者の健康づくりについて」と題しての講演をお願いしました。

講演の初めに、安全を確かなものにするには事故の

防止だけではなく「健康でなければ安全の予防はできない」との話から講演が始まり、生き生きと自立して暮らすために頭もからだも積極的に使うことが必要であること。高齢期の心身の衰えは「年のせい」であり仕方ないと思えらる方もおりますが、高齢者における心身の衰えの多くは、「頭やからだを使わないこと」が原因だそうです。積極的に頭やからだを使うことにより元の健康な状態に戻すことや、衰えを予防できることでした。また、からだを使うためには、エネルギーとなる栄養に気を配る必要があることも重要となり、年をとることにより、食事をないがしろにしがちですが、特にたんぱく質とエネルギーの不足には十分注意が必要で食べる量は少なくても一日三回は食べ、主食・主菜・副菜をバランス良くとることだそうです。食べるためには、口の健康も重要となり、口の手入れと口腔の体操を習慣にすることが必要とのこと。

美味しく食事をとるための口腔体操を参加者全員で行い、頭とからだを使い健康なからだを作り安全就業につなげたいと感じた大変有意義な安全講習会でした。

# 「やまがた生涯現役促進 地域連携事業」にフイマ

平成二十九年四月より、「やまがた生涯現役促進地域連携事業協議会」が発足しました。この協議会では、シルバー世代の就業に係る様々な事業を行っています。

## ①「よりあい茶屋（カフェ）の開設」

シルバー世代の就業相談を受け付けるワンストップの窓口です。

相談員（一名）が常駐し、様々な希望に応じた窓口の紹介や、希望する方にはシルバー人材センターへの入会手続きも行っています。また、高齢者向けの就業セミナーも開催するなど、フルタイムや短時間勤務等のライフスタイルに応じた就業のマッチングをめざし事業展開しています。

## ②よりあい産直市

高齢者の方々が自宅の畑で

育てた新鮮な野菜をお手頃価格で販売しています。出品する皆さんは、友人はだしの方ばかり。市場にはあまり出回らない珍しい野菜や手作りの手芸品なども販売されています。また、協議会が運営する「よりあい農園」で栽培された野菜も格安で販売しています。

## ③観光ガイド・指導員養成プログラム

山寺・蔵王の観光地や街中で活躍する観光ガイドと体験農業等の指導員の養成を目指し、講習会や養成講座を企画します。



山形市芳野16番地  
☎ 687-1580

# センター活動状況

## ○全シ協議を受け、市長・議長へ支援要請

今年度も全シ協定時総会にて、「ニッポン一億総活躍プラン」を地域社会で実践するシルバー人材センターの決意と支援の要望の要請文が決議されました。これを受け、七月二十七日、長瀬理事長・笹原常務理事が山形市の佐藤孝弘市長、渡辺元市議会議長を訪問し、センターに対する補助金の確保や事業発注の確保について要請活動を行いました。



## ○シルバー会員手作りの「菅笠」を蔵王大権現へ奉納

山形の夏の風物詩、花笠まつりで使用する菅笠は、現在飯豊町から購入したものを使用していますが、年々編み手が減少しています。祭りをさらに盛り上げるためにも「菅笠」を地産地消したいという市農政課からの依頼を受け、昨年度から女性部会を中心に希望者で菅笠編みを一から勉強しています。この度会員の塩野美智子さん・安達つや子さん・村田せつ子さんの三名が編んだ菅笠を、花笠まつりの前日に開催される「サマーフェスティバル」にて奉納し、祭りの安全を祈願してきました。



# 滝山一地区

佐藤 啓志

滝山一地区は、山形市の南東部、国道十三号より東

を仰げば瀧山があり、その麓に、春から秋にかけて、牛の放し飼いの西蔵王放牧場が、その横に五月中頃になると、桜満開の大山桜を観る人たちが大勢訪れます。

瀧山より流れる瀧山川に沿って西に降つてくると、岩波の町があり、三十三観音の札所、石行寺より約一〇〇M位降った右側、山裾に五月初めころには、黄色一面山吹の花が咲き、山吹ロードと呼ばれ、写真家や、一般の人たちもカメラ片手に、写真を撮りにやって参ります。

そのすぐ側、道路反対側を流れる瀧山川に掛かっている大橋より上流を眺めれば、青森

の奥入瀬川を連想させる眺めを楽しめます。

最後に、上桜田と中桜田町内に渡って、東北芸術工科大学があり、その周辺は学園都市として、静かな佇まいをしており、正面玄関前は、水を豊富に湛え、その広場より西を見渡せば、市内を一望出来、その夜景は素晴らしい眺めです。



滝山「山吹ロード」

## 地域紹介

# わが街自慢



# 金井地区

今田 一夫

シルバー金井地区には十二町内会があります。

今回は嶋南、嶋北の町を紹介いたします。施設としては山形市浄化センターがあり、旧山形市内の浄化を行い、残りは天童の浄化センターで行っていることを今回知ることが出来ました。隣にはメイドインジャパントレビで放映された、鈴木製作所株式会社（小型ロックミシン）は世界的に有名です。嶋南、北を横断している「新水公園は嶋の憩い」せせらぎ水路や緑樹遊歩道があり、地下には雨水対策の導管が通り矢吹病院の裏に大きい嶋調整池があります。ご存じでしょうか。一度見学してみても如何でしょうか。



### 私の願い



第六地区  
富樫 茂子

シルバー人材センター会員になって就いた仕事が山形市社会福祉協議会のかすみ温泉受付業務でした。

最初の半年はいろんな事がありすぎて私に勤まるかと不安でしたが、事務所の方や同僚の方のご指導で何とか三年過ぎました。今では何時も来られるお客様は、ほとんど覚えております。何時も来られる方が来ないと何かあったのかなと心配に

なる事もあります。久々に来られるとやはり怪我をして来られなかった様でした。でも「やはりこの温泉が一番だね。怪我也も治りそう。これからも毎日来るね」とお話しをして帰られるとやはり嬉しいです。

又、九十歳を過ぎているおばあちゃん一人であられ「温泉に入ってお喋りするのが長生きの秘訣だ」と笑顔で話しをして行かれます。その様な元気なご年輩の方々とお話しをしていると元気のパワーを貰えます。

思いも寄らない様な事が多々あると思いますが、広い心と思いやりの気持ちを持って対応して行きたいと思えます。健康で仕事を続けて行ける事が今の私の願いです。

### 園芸療法ボランティアに参加して



第九地区  
瀬尾知栄子

ながまち荘の洗濯場で働かせ

ていただいてから四年めになりました。雨にも風にも負けず通っております。

園芸療法という楽しそうで、気になるのを目にして興味を持ち、誘われてボランティアする事になりました。ご利用者が育てられた大根、ジャガイモで豚汁を作り、夏祭に参加したり、ジャガモチを作って、あんをかけて食べたり、クッキーを焼いたり、皆様から「おいしい」と、声が聞こえると笑顔になり嬉しくなります。荘の中庭でラベンダーを育て、実を摘み、布で三角の匂袋を作ります。ラベンダーの香りが洗濯場の近くまで漂ってきます。ご利用者様と一緒にになって、作る事、味わう事、喜ぶ事のできる活動に、新鮮で大切な事業なんだなと思えました。

もちろん洗濯場も大切な職場ですよ。大量のタオル、衣類を判別し、皆で協力し、声をかけながら、笑顔で頑張らないとやれない、七人七色の虹の職場です。

### 裸足の健康管理



蔵王地区  
岡崎 政男

小学五年の時、中学校体育で剣道の稽古を見学していたとき、先生に声をかけられ竹刀を握ったのが始まりで以来剣道の魅力にとりつかれ五十年になります。六年前に、福島県警察官を退職し、現在、朝五時三十分から銅町にあるスズキハイテック道場で鈴木館長に稽古を頂き汗を流しております。

剣道は怪我が少なく、高齢になっても出来るスポーツで、門下生には八十七歳になる高齢者もあり、道場は熱気であふれています。

かけ声と責め合いは集中力を増し、頭部をたたかれることで脳が活性化し、竹刀を振ることにより肩こりをなくし、裸足は足の裏のつばを刺激し血行を良くするなど健康維持する上で最適です。剣道界ではまだまだ若





僧の私ですが、迷惑をかけないよう剣道を通して健康管理に努めたいと思っております。

**山形市に転居して三年半**



南沼原地区  
おひなた  
帯刀 楯夫

二〇一四年四月。東京の三鷹市より山形市に転居して早や三年半。「まほろばの里」をイメージするに十分な環境を享受する毎日。今や豊かな自然と気候風土、食彩、温泉王国山形は第二の故郷となる。

生まれは長野県松本市。北アルプスを背にした盆地風土は、

古くから城下町として栄えてきた歴史的、文化的にも山形市と重なる。また現役時代の九十年五月より約二十年、韓国ソウル（緯度では秋田）に赴任していたが、大陸性気候のソウルは雪が少ないものの寒暖の差は大きく、四季の織りなす景観は山形市と相通じる。

昨夏、自らを早期に現地化するため「山形市シルバー人材センター」会員となった。健康であれば未だ社会に貢献出来るセンターを通じ仕事も経験。現役時代の職業、職位など一切のプライドを超越した同世代の間との絆は貴重な人間関係を醸成している。

これからも山形の素晴らしさを大いにPRしていきたい。

**広報部会員寄稿**

**英検と海外旅行**

大瀧 守

中学一年生のころ観た映画

（洋画）に影響をうけ、英語が大好きになり今も英会話の勉強

をしている。英語の勉強は私にとって娯楽である。

四十代後半から英会話スクールに通いはじめた。最初の半年間くらいは自分の考えがうまく伝えられず、もどかしい思いをしたが、徐々に話せるようになった。

数年前、英検二級を受験。最初は問題集を購入し勉強した。またインターネット上の英検ホームページにもアクセスし、過去の問題をダウンロードし解いた。同時にリスニング問題にも挑戦。リスニング問題は最初、三十問中、十問程度しか正解できなかつたが、何度もやってみるうちに耳が慣れ、二十四問程度正解できるようになった。その甲斐あつてみごと合格。嬉しかった。だが合格者には二次試験がある。英会話能力のテストである。教室で試験官とすべて英語のみで、一対一で行われる。とても緊張した。でもなんとか合格できた。

約三年半前の五月、初の海外旅行は機内泊も含め七泊のアメ

リカ東海岸へ。ワシントン、フィラデルフィア、ニューヨークへ行った。ブロードウェイでミュージカルを観たあと、マンハッタンの夜景を観た。とても綺麗だった。

また昨年十月は機内泊も含め六泊のオーストラリアへ。ブルズベン、ゴールドコースト、シドニーへ行つた。コアラを抱っこしての記念撮影。ゴールドコーストにあるレストランでの昼食。シドニー湾でのディナークルーズ。観光もさることながら、英語の世界にどっぷり漬かり、英語を話しながらの旅行は、私にとって楽しい。



**黒坂 栄子**  
(山形大学附属特別支援学校)

山大附属病院近くにある、山形大学附属特別支援学校(旧附属養護学校)を訪ねた。ここでは女性会員二名が給食補助業務に就業している。事務室の大友係長さん

に挨拶をし、学校の概要を尋ねた。  
小学・中学・高等部の生徒五十三名、教職員三十七名が在籍。

生徒は、親からの送迎、公共のバス、市や町の送迎サービスを利用して全員通学している。

会員の主な業務は①一名による交替制で月曜から金曜までの週五日間。春・夏・冬の休み期間は除く。②時間は午前九時から午後三時まで(休憩時間は六〇分)③主な業務は給食センターから十一時三十分が届いた給食を仕分けし、配膳車に乗せる。

給食は約九十食。給食当番の生徒が教室に運びやすいよ



う、準備をする。給食終了後返却された、お盆・スプーンなどを簡易洗浄し消毒。大部分の食器類は洗浄しないで返却する。⑤後片付け後、清掃を行なう。

仕事上の喜びは孫みたいなお子供達から「ばーば」としたわれ、声のかけ合いに喜びを感じている、とのこと。

大友係長さんから「就業会員には、一生懸命やつてもらっている」とのお話を頂きました。(取材・広報部)

**就業会員を訪ねて**

**吉田 久美子**  
(桜こどもクラブ)

特定非営利活動法人桜こどもクラブ(山形市元木)を訪問させていただきました。こちらは桜田小学校に通学する児童の学童保育の施設です。一年生から六

年生まで六十五名の児童を預かっており、低学年が全体の六割を占め、塾・習い事や親の仕事が休日で施設を休む児童もいるそうです。

会員の勤務体系は、平日十四時から十八時、土曜八時から十二時までの二名体制で一日おきの交代制です。業務内容は、清掃(台所・食器、手洗い場、トイレ等)、手作りおやつ、準備補助や整理整頓等の仕事です。ちなみに当日のおやつは美味しいマカロニミートソースとお菓子でした。会員の吉田さんが日頃注意していることは、最近の子供たちの名前が難しく「顔と名前が一致しない」とき、子供達があがりやしてしまうので、



早く名前を覚えるようにしています。

子供たちはグループ毎に友達同士宿題を解いたり、わからないところを教えあったりして、取材中も明るく元気な大きな声で話し合っていました。このような元気な子供たちの職場で働く会員の方々が羨ましく感じました。私たちも子供たちの賑やかな声になりました。(取材・広報部)



シルバーに

人あり 技あり

心あり

エベレスト街道  
トレッキング・二つの登頂



南沼原地区

遠藤 敏雄

前職の山形県建設技術センターでは、登山道の補修・整備等を手掛けました。西川山岳会の方々と話す機会が多く、退職以前に西川山岳会に入会しました。国内外の登山話を聞くうちに、どうしてもエベレストをこの目で見たいという気持ちから



アイランドピーク山頂にて

れ、三月二十日から四月十八日、三十日間のツアーに参加しました。日本から飛行機で韓国インチョン経由カトマンズ、乗り継ぎでルクラ（標高二、八五〇m）到着。二十二日トレッキング開始、ナムチュエ、タンポチュエ、ロプチュエを経由して、二十九日ゴラクシェフ（五、一四〇m）ロッジ到着、明日はエベレスト山頂が見えるカラパタール（五、五四五m）山頂を目指す。五時起床、ヘッドランプを付け登る。三十日七時四十分登頂。山頂で尺八を吹くことに決めていた。鳴ってくれたので安心した。エベレスト山頂をはつきりと見ることが出来ました。四月四日アイランドピークBC到着。グループと分かれて五・六日アイランドピーク（六一八九m）に挑戦。直登一〇〇mの岩と氷の壁を特殊道具と備え付けロープで登攀。六月六日六時四十五分登頂。もう一つの夢を叶えることが出来ました。一重にご協力戴いた皆様に感謝いたします。（取材：広報部）

新入会員紹介

（七月一日〜九月三十日まで）

第一地区	須藤 光一	飯塚・樫沢地区	山本 恭子
高橋 俊	東沢地区	鈴木けい子	
第三地区	武田喜栄子	板垣源太郎	
長谷川 滋	滝山一地区	山下みき子	
第四地区	斎藤 哲雄	荒井 和子	
井山 孝明	諏訪千恵子		
朴 静江	山川 清光		
第五地区	高橋 渡	金井地区	花等 利幸
阿部 宜久			長岡 憲一
第六地区	鐘水 武夫	大郷地区	齋藤 博
今野眞里子		寒河江秀昭	
第七地区	布施 正夫	山寺・高瀬地区	熊谷 栄子
稲村利喜男		蔵王地区	設楽由美子
長谷川貞三		南山形・本沢地区	鈴木安治郎
第八地区	遠藤 静	南沼原地区	岩崎 政男
伊藤 裕子		難波 信美	
永橋 憲昭		奥平 当子	
第九地区	高橋 静江	瀬野 清志	
伊藤 文雄		田中 雄三	
第十地区	加藤ちえ子	服部 源吉	
鈴木 悟		本多 要子	
鈴木 正博		井上 たみ	
古田 則子		伊藤 良一	
深瀬 哲治			
西部地区			

# 事務局だより

山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号  
電話〇二二六四七六四七

## お知らせと お願い



### 配分金支払日

- 十月二十日(金)
- 十一月二十日(月)
- 十二月二十日(水)

### 入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

- 十月十二日(木)、十九日(木)
- 二十六日(木)
- 十一月二日(木)、十六日(木)
- 三十日(木)
- 十二月七日(木)、十四日(木)
- 二十一日(木)

### 就業相談日(午後一時三十分)

(就業に関しての相談です)

- 十月十二日(木)
- 十一月二日(木)
- 十二月十四日(木)

## 行事イベント案内

### 地区研修会に参加しましょう

本年も各地区ごとに開催されますので、皆さんのご参加をよろしくお願いします。

※女性部会では、未使用のタオルの寄付をお願いいたします。地区研修会の際にも受付いたしますので、ぜひお持ちください。

### 創作品展即売会

日時：十月二十九日(日)～

三十一日(火)

場所：山形テルサ一階

(互助会文化祭会場)

出品作品の準備をお願いします。

男性・女性会員とも積極的な参加をお待ちしています。

### ブロック研修会を開催します

日時：十一月七日(火)

～九日(木)

場所：保健センター

(霞城セントラル)

※今年度は会場が保健センターになります。地区毎に日程が異なりますので、後日ご案内いたします。

## 地域の総合検診は必ず受けよう！

健康でなければ良い仕事はできません。各地区の総合検診を受診して、健康管理に努めましょう。

## センター

### 緊急連絡先

〇九〇一六二五五―五三〇二

土日・祝日に事故等が発生した場合の緊急連絡先です。

また、会員証と一緒にお渡しする緊急連絡カードは、就業の際必ず携帯するようお願いいたします。

## あとがき

暑さも一段落し、過ぎしやうい秋の到来である。広報部会も新メンバーになり、初めて発行する会報「シルバーやまがた」である。無事に発行することが出来ほっとしている。

前回の会報で「文字が小さくて読みにくい」との指摘を受け、活字を少し大きくした。

そして「会員のひろば」への投稿依頼の文字数も四〇〇字から五〇〇字以内でお願いしている。

これからも会員に親しまれ、より分かりやすく、読みやすい、会報「シルバーやまがた」にすべく、努めて参りますので、ご愛

読ください  
ますようお  
願いいたし  
ます。

